

種子産地強化計画

計画(変更)策定年月日	平成31年3月22日(令和元年6月19日)
市町村名	熊谷市
計画主体名	小原種子組合
計画主体代表者名	小林 言孝
住所(主たる事務所)	小江川1936-1
電話(主たる事務所)	048-536-7911

目 次

- 1 種子産地の現状と課題並びに将来方向
 - (1) 種子産地の面積及び戸数
 - (2) 産地の課題
 - (3) 若い種子生産者の育成・確保の考え方

- 2 当該種子産地における具体的な目標
 - (1) 種子生産者数
 - (2) 生産性の向上

- 3 目標実現のための方策

- 4 その他、目標達成のために特に留意する事項、方針

1 種子産地の現状と課題並びに将来方向

(1) 種子産地の面積及び戸数

	生產品目 及び品種名	種子生産 面積 (ha)	うち		
			認定農業者 (ha)	種子生産 農家戸数 (戸)	認定農業者 (戸)
計画策定時 (30年度)	大豆 (里のほほえ み)	3.5	2.3	10	6
計画策定時 (30年度)	水稻 (キヌヒカリ)	6.3	2.9	17	8
計画策定時 (30年度)	小麦 (あやひかり)	21.1	14.2	14	8

(2) 産地の課題

- ・種子生産者の減少により、面積配分した時の1人あたりの負担が増加している。
- ・種子生産に使用する栽培機械、選別機械が老朽化しており、作業効率が悪い。
- ・大豆では種子選別を手作業で行っているため、効率が悪く、生産者の負担になっている。

(3) 若い種子生産者の育成・確保の考え方

- ・大豆、水稻、小麦の栽培機械、選別機械を導入することで、種子の生産を効率化し、若手生産者にも取り組みやすい作業体系を構築する。
- ・熟練種子生産者が新規種子生産者に研修会や実証ほの設置等を通じて技術指導を行う。

2 当該産地における具体的な目標

(1) 種子生産者数(大豆)

	種子生産 農家戸数	うち、主たる 生産者が				
		20代の農家	30代の農家	40代の農家	50代の農家	60代の農家
計画策定時 (30年度)	10	0	0	0	2	8
1年後 (元年度)	10	0	0	0	2	8
2年度 (2年度)	11	0	0	1	2	8
目標年度 (3年度)	11	0	0	1	2	8

種子生産者数(水稻)

	種子生産者数(水稻)					
	種子生産農家戸数	うち、主たる生産者が20代の農家	30代の農家	40代の農家	50代の農家	60代の農家
計画策定時(30年度)	17	0	0	0	2	15
1年後(元年度)	17	0	0	0	2	15
2年度(2年度)	18	0	0	1	2	15
目標年度(3年度)	18	0	0	1	2	15

種子生産者数(小麦)

	種子生産者数(小麦)					
	種子生産農家戸数	うち、主たる生産者が20代の農家	30代の農家	40代の農家	50代の農家	60代の農家
計画策定時(30年度)	14	0	0	0	2	12
1年後(元年度)	14	0	0	0	2	12
2年度(2年度)	15	0	0	1	2	12
目標年度(3年度)	15	0	0	1	2	12

(2)生産性の向上

区分	具体的な内容	数 値 目 標			
		計画策定時(30年度)	1年後(元年度)	2年後(2年度)	目標年度(3年度)
労力削減(大豆)	色彩選別機の導入	0.53時間/kg	0.27時間/kg	0.27時間/kg	0.27時間/kg
コスト削減(小麦)	コンバインの共同利用	40分/10a	35分/10a	35分/10a	35分/10a
その他(水稻)	ユニフロー(穀物精選機)・色彩選別機導入による稲こうじ病種子除去	稲こうじ病種子が検出された袋数 10袋	稲こうじ病種子が検出された袋数 0袋	稲こうじ病種子が検出された袋数 0袋	稲こうじ病種子が検出された袋数 0袋

注:各項目の記載事項については、別記1の「2 当該産地における具体的な目標」を参照

3 目標を実現するための方策

	具体的な取組内容		
	1年目(元年度)	2年目(2年度)	目標年度(3年度)
種子生産者数	・共同で使える機械を導入し、新規種子生産者を受け入れる体制を整える。	・新規種子生産者に対し、長年種子の生産をしてきた熟練の生産者から栽培方法等の指導を行う。	・新規種子生産者を含む種子生産体制を軌道に乗せる。
生産性向上	・共同でのコンバイン、ユニフロー(穀物精選機)、水稻色彩選別機利用によって、作業を効率化し生産コストを削減する。 ・大豆色彩選別機導入後の作業体系等について検討する。	・収穫機、選別機導入後の選別作業について随時見直しを行い改善する。	・収穫機、選別機導入後の選別作業について随時見直しを行い改善する。
その他	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・

(参考)必要とする助成措置

導入予定年度	相手先	具体的な取組内容(施設・機械名等)	規模・金額
元年度	・小原種子組合	・大豆色彩選別機	処理能力:500kg/時間 金額:4,390,000円
元年度	・くまがや農業協同組合	・ユニフロー(穀物精選機)	処理能力:1000kg/時間 金額:7,600,000円
元年度	・くまがや農業協同組合	・水稻色彩選別機	処理能力:600kg/時間 金額:7,000,000円
元年度	・小原種子組合	・自脱型コンバイン(小麦・水稻)	規模:4条 金額:4,890,000円

4 その他、目標達成のために特に留意する事項、方針

留意している事項、方針	<ul style="list-style-type: none">・大里地域全体のより効率的な種子生産のため、隣接するふかや農協の大豆種子生産者も選別機利用者として受け入れる。・機械の導入にあたっては、小原種子組合が種子生産に利用している機械には、小原種子組合が所有する部分とくまがや農業協同組合が所有する部分があることに留意して整備する。
-------------	--

注：種子産地の若返りを推進するに当たって、目標の実現のため産地として特に留意している事項等を記入する。